No.193 <sup>平成29(2017)年</sup> 11月1日

### ー編集と発行ー 門 真 市 議 会 の6-6902-1231<sub>(代表)</sub> 072-885-1231

### 第3回定例会

2件について慎重に審議しました。 ついて」など、市長提出議案14件、 |門真市立幼保連携型認定こども園条例の制定に 平成29年第3回定例会は、9月8日に開会し、 議員提出議案

議を付し、その他の議案はいずれも原案のとおり ては、修正案を否決後、原案を可決の上、附帯決 算特別委員会を設置の上、付託し、閉会中の継続 可決、承認並びに同意し、9月22日に閉会しました。 審査となり、 この結果、決算認定2件及び議案第48号は、 また、認定こども園条例の制定につい

III 30 年4月に開園予定の砂子みなみこども園のイメージ

### 門真市立幼保連携型認定こども園条例

真市子ども・子育て支援事業計画」を着 実に実行していることは承知している

こと。

際は、制服や教材

等に新たな負

同こども園を引き 保育園を利用して

続き利用する

なお、現在、南

幼稚園及び南

いる園児が、

担が生じないよう

現在使用中

## (文教こども常任委員会 審査概要

うに増減するのか。 園と南保育園の定員からどのよ 同こども園の定員は、 南幼稚

問

現在の南幼稚園と南保育園の在 同こども園の定員については

### の制定についてに対する附帯決議

### 問 編成は。 1号認定と2号 認定のクラス

を進めることとしているため、 機児童の解消に向けた取り組み

同園の存続は

存事業者の定員拡充により、待小規模保育事業の新規開設や既

ら2歳児を中心に発生しており、

本市の待機児童は、〇歳児か

のものを使えるよう配慮する。

答 全て混合でクラス ており、市内の他の施設でも、 混合でクラス編成 と聞いている。 1号認定と2号 認定の園児を 編成している する予定とし

(その他の質疑)

考えていない。 現時点において、

職員の配置基準と資格要件

施設や登降園時の安全面につい

ての配慮

### 砂子みなみこども園の 設置に向け条例を制定

園児分を確保し、

童の解消を図るた

め、待機の多 一定の待機児

い〇歳児から2歳

児は保育定員

を拡充し、全体で260人の定

めていく。

員とするべく、今

後、規則で定

0

連携型認定こども園条例

制定など13議案を可決

るものです。 幼保連携型認定こども園を設置す 第12条の規定に基づき、門真市立 総合的な提供の推進に関する法律 の子どもに関する教育、保育等の 園条例の制定については、就学前 門真市立幼保連携型認定こども

させるための修正案が提出されま らないことから、南保育園を存続 記のとおり附帯決議を付しました。 した。また、審議を踏まえて、左 置しても、待機児童の解消には至 (議決結果) 本案については、こども園を設

原案及び修正案に反 修正案否決後、原案 を賛成多数で可決し 対・賛成討論の後

> 他の実費負担に係る経費や各種 際の利用料等は別 償にするものであ 保育料に当たる利 育の無償化につい 施している幼児教 らう必要がある。 子育て支援サービ 29年度から5歳 るため、その ては、月々の 児を対象に実 途負担しても スを利用する 用者負担を無 育・保育・療

> > 固

1

号認定の園児の給食は、

どのように提供するのか。

答

別途必要になる。 の園児の給食に係 等の実費負担のほ 保育を利用する際 同こども園では、 は、制服や教材 の利用料等が る費用、延長

問 るべきではないか。

において、南保育園を存続させ 待機児童が発生している現状

### 予定であるが、保護者の希望に 号認定の園児と同様に提供する 能とする予定である。 より、弁当を持参することも可 1号認定の園児の給食は、2

答



○議案審議等の概要 ………1~3ページ

無償化の対象とならない経費は

同こども園にお

ける5歳児の

- 幼保連携型認定こども園条例の制定、
- ・一般会計補正予算、身体障害者・知的障害者・ こどもの医療費の助成に関する条例の
- ・意見書、人事案件、タブレット端末の 試行導入など

○一般質問 ………3~7ページ ○議決結果、議会活動日誌 ………8ページ

### 29年度補正予算 一般会計補正予算(第3号))

議決結果) 反対討論の後、 賛成多数で可決

総務建設常任委員会審査概要)

### 地裁にて市が全面的に勝訴 29億円返還請求裁判 旧ダイエー跡地の移転補償費

### 圕 同裁判の判決の概要は。

張が全面的に認められた。 に行われたものとは認められな らに不当な利益を得させるため 契約の有効性についても、移転 補償契約は有効であるとの結果 補償費の算定に誤りがないので、 前市長の不法行為責任及び補償 いので、共同不法行為があった であり、全ての争点で本市の主 不法行為が成立する余地はなく、 とは認められない。また、園部 本市の損失のもとで光亜興産

議会だより

### 閰 判決を受けての市長の考えは。

(その他の質疑) ったのは、当時、市民に行政に いるが、本事案が住民訴訟に至 が認められたものと受けとめて 市民に信頼される透明性の高い であると考えている。今後は、 対する強い不信感を与えたため 行政運営に努めていく。

の要因について

など

道路や橋梁への交付金大幅減額

判決は、 全面的に本市の主張

(民生常任委員会 審査概要)

### 障害者総合支援法等 30年度に一部改正

### うシステム改修の内容は。 同法等の改正内容とそれに伴

新たなサービスが創設される。 宅訪問型の児童発達支援など、 た支援を行う就労定着支援、居 自立生活援助、就労定着に向け 30年度に地域生活を支援する

もされる。 の拡大、高額障がい福祉サービ ス等給付費の支給対象の拡大等 システム改修については、内 また、重度訪問介護の訪問先

報酬改定がされることから行う ものである。 容は未確定であるが、30年度に

### 圕 改正による市民負担の変化は。

答 市民税非課税世帯の人が障がい 引き続き、自己負担は発生しな 福祉サービスを利用する場合は 市民の負担額の変更はなく



問 自立支援通訳者を派遣

## 同通訳者の採用基準等は。

ピノ語を含む7カ国語、14人を わしい人物であるかを判断した を行い、学校教育に対する理解 遣している。 上で、自立支援通訳者として派 があり、教育現場の支援にふさ 登録している。登録の際に面談 現在、中国語、英語、フィリ

### 児童・生徒への対応は、 フカ国語以外を母国語とする

公益財団法人大阪府国際交流財 行っている府内の市町村教育委 訳者の在籍を問い合わせている。 団(〇FIX)に当該言語の通 員会へ紹介を依頼することや、 本市と同様に通訳者派遣を

(その他の質疑

奨学金対象拡大について など

### 障がい者の医療費助成 30年度から見直し

療費助成制度との統合に伴い、助医療費助成制度の変更及び老人医 所要の改正等を行うものです。 祉医療制度の再構築による障害者 者の医療費の助成に関する条例の 成対象者の拡充等を行うとともに、 部改正については、大阪府の福 門真市身体障害者及び知的障害

(民生常任委員会 審査概要)

渡日児童・生徒の学習支援に

(文教こども常任委員会 審査概要)

のバランスを考慮した見直しがさ 選択・集中し、また、受益と負担 範囲をより医療を必要とする人へ 祉医療助成制度の対象者や給付の 持続可能な制度とする観点から福 後、所要額の増加が見込まれる中 に伴う医療費の増嵩等により、

府制度の改正に伴い、本条例の改に合わせて事業を実施し、今般の本市としては、従前から府制度

障がい者医療費助成制度となる。 医療費助成制度は統合され、重度 での障害者医療費助成制度と老人

### 問 となる人、対象外となる人は。

療法の助成対象者のうち、障害 当1級に該当する重度の難病患 年金

一級または特別児童扶養手 者に対象が拡充される。 福祉手帳1級所持者及び難病医 64歳以下で精神障がい者保健

障がい者保健福祉手帳1級以外 重度以外の難病患者、結核患者 の精神通院医療制度の対象者、 成制度の対象となっていた精神 が対象から外れることとなる。 また、これまで老人医療費助

(議決結果)反対討論の後、 賛成多数で可決

## 府の障害者医療費助成制度改

高齢化の進展・医療の高度化 今

正を行うものである。

なお、制度改正により、これま

## 制度改正により、新たに対象

# 正の趣旨及び条例改正の概要は

こどもの医療 市民への周知方法は 30年度か について ら見直し 見助 成

よる乳幼児医療費助 要の改正等を行うも 護療養費を加える等とともに、所 関する条例の一部改 に伴い、助成対象医 大阪府の福祉医療制 門真市こどもの医 0のです。 療費に訪問看 成制度の変更 度の再構築に 正については、 療費の助成に

### |議決結果) 反対討論の後、 賛成多数で可決

# (文教こども常任委員会 審査概要)

問

今回の条例改正

の概要は。

を考慮した府の見直しによるも 対象となる医療費 のであり、主な改 と同様に受益と負担のバランス 前述の障害者医 正点は、支給 療費助成制度 に訪問看護療

る。 は、3年間の経過措 なお、対象外となる人について 置が設けられ

### 市民の手続の負担増への対策は 月負担限度日数 の廃止による

問

同療養費が支給対象となる医

ものである。

床への入院に係る給付を除いた

養費を含めるとともに、精神病

療費に含まれた理由は。

(その他の質疑) 座情報の登録をすれば、システ ることにより、市 自動的に償還できる仕組みにす ステム改修を行うことで、口 あった償還払いについては、シ に努めたいと考えている。 ム上で毎月のレセ これまで毎月 手続が必要で 民の負担軽減 プトを確認し、

重度障がい者訪問看護利用料助

同療養費は、従前からあった

成制度が廃止されることに伴い、

て、助成対象としたことによる 府の福祉医療費助成制度におい

のである。

### 問 訪問看護利用時の手続方法は。

など

(その他の質疑) の月上限額は2500円となる。 るが、複数機関を利用した場合 円以内で、月に2日が限度とな ンを利用した場合、1日500 医療機関・訪問看護ステーショ 己負担額のみで利用可能である。 療証を提示することにより、自 保険内で療養を受けた場合、医 医師による指示書に基づき医療 訪問看護を利用する場合は 自己負担額は、一つの

市民への周知方法について



### 決算特別委員会委員構成

<u></u>									
委員長	佐藤	親太							
副委員長	春田	清子							
委員(議席順)	後藤	太平							
	堀尾	晴真							
	内海	武寿							
	中道	茂							
	今田	哲哉							

特別委員会を設置し、 続審査を付託しました。

業会計決算認定については、 水道事業剰余金の処分及び水道事28年度の門真市歳入歳出決算認定 に審査する必要があるため、 の門真市歳入歳出決算認定 閉会中の 決算 慎重

回 の定例会に提案された平成 特別委員会設置

門真市本町16番3号 委員の選任〉
「固定資産評価審査委員会 **北**た **岡**おか

人事案件に同意

タブ

**/**ツト端末(

の

試

行

導

入を実施

教育委員会委員の任命 慎ん 太た 良いろう

門真市上島町23番29号

長が

選任・任命に同意しました。 ことに伴い、提案されたもので、 澤な 任期が満了する 信ぶ 之き

以上2件

は、



試行導入した タブレット端末

子)」を9月に発行しました。

市議会ホームページや図書館、

市政のしおり(市政概要の

などでご覧いただけます

情報コーナー

(市役所別館

市政の. 発 行 おり」 ま た を

のように考え、進め桜並木の周辺環境等観整備完成構想図の実観を構想図の実



率化を目的に議会ICT化を推進

ト端末の試行導入を行いました。 しており、第3回定例会でタブレ

なお、12月の第4回定例会より

本格導入する予定です。

ペ

ーパーレス化及び議会運営の効

本市議会では、

議会関係文書の

本会議でタブレット端末 を使用している様子

### 意見書を可決

本市議会では、以下の2件の意見書を可決し、その内容の実現を求めるため、政府関係機関等へ送付しました。

### 受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

受動喫煙を防止するには、何よりもたばこの煙が深刻な健康被害を招くことを国民に啓 発していくことが重要である。

厚生労働省の喫煙の健康影響に関する検討会が取りまとめた報告書(たばこ白書)では、 喫煙は、肺がん、喉頭がん、胃がんなどに加え、循環器疾患や呼吸器疾患などとも因果関 係があり、受動喫煙は、肺がん、虚血性心疾患、脳卒中と因果関係があることが示されて いる。また、国立がん研究センターは、受動喫煙による死亡者数を年間約1万5000人と 推計している。

たばこの煙による健康被害についてこうした公表がある一方で、世界保健機関(WHO) は、日本の受動喫煙対策を最低ランクに位置づけている。この現状を脱し、2020年東京オ リンピック・パラリンピックに向けた我が国の受動喫煙防止対策の取り組みを国際社会に 発信する必要がある。

よって政府においては、国民の健康を最優先に考え、受動喫煙防止対策の取り組みを進 めるための規制を図るため、下記の事項を踏まえた健康増進法の早急な改正を強く求める。

記

- 対策を講じるに当たっては、準備と実施までの周知期間を設けること。
- 屋内の職場・公共の場を全面禁煙とするよう求める「WHOたばこ規制枠組条約第8 2 条の実施のためのガイドライン」を十分考慮すること。
- 屋内における規制においては、喫煙専用室の設置が困難な小規模飲食店に配慮すること。 また、未成年者や従業員の受動喫煙対策を講じること。
- 各自治体の路上喫煙規制条例等との調整を視野に入れて規制を検討すること。

### 小・中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書

インターネットの単なる普及にとどまらず、インターネットを活用したIoTの活用分 野の拡大、自動車の自動運転をも可能とするAI(人工知能)の開発など、近年における I T技術の発展は著しく、「第四次産業革命」とも呼ばれる大きな転換期を迎えている。 新たなニーズに対応し得る人材の確保は世界的にも共通のものとなっており、我が国に おいてもグローバルに活躍し得る人材を育成する上で、ITスキルの向上は不可欠なもの であるが、2016年に経済産業省が発表した資料によると、2015年時点でIT人材不足数は 約17万1000人、2030年には最大で約79万人が不足すると試算されている。

2020年にプログラミングが小学校において必修化されることに伴い、各都道府県教育委 員会において、人材育成、指導内容等について、独自に試行錯誤を繰り返しているが、 「どの分野に力点を置き、いかなる人材を養成すべきか」との課題は残されたままであ る。地域間の格差を是正するためにも、中核となる指導内容については全国共通のものと なることが求められる。

一般家庭における I T機器の普及は著しく、児童・生徒たちは幼少期より一定程度 I T 機器に接することが珍しくない中で、教員に求められる技能はおのずと高いものとならざ るを得ない。このことから近年、特に顕著となっている教職員の多忙化に拍車をかけるこ ととなりかねず、外部人材の活用など、人的あるいは財政的支援が必要となる。

従来、小・中学校における I T機器の整備は、主に基礎自治体に委ねられてきたもの の、自治体の財政力により整備状況に大きな差が生じているのが実情である。プログラミ ング教育において、自治体間の格差を是正するためにも、指導上必要となる機器の整備な どに対する財政措置が求められる。

また、小学校でのプログラミング授業を先行実施している一部基礎自治体(千葉県柏市な ど)において先行して実施されているものとの整合性など、既に幾つかの課題が散見される。 よって政府においては、下記の3点について措置を講じられるよう要望する。

記

- 早期にプログラミングの指導の概要について明らかにすること。
- 2 円滑な指導を行うため、自治体間の格差を是正するために必要な財政措置を行うこと。
- 3 民間の人材を積極的に活用したり、小規模な自治体などにおいて適正な人員配置が困 難な場合など、広域での対応を認めるなど、弾力的な人材配置を認めること。

会事務局では、 (市政概要の冊 平成29年度の

創造について砂子水路の景観保令

21 以子水路景観へ は年7月からな



岡本 宗城 (公明党)

しているの うな水質となるまで に反映させるべきも しているが、景観整 同構想図は、 が。 現状で 将 のとして認識や来の景観整備 備に見合うよ には時間がか 治 一水の面

示された景観整備

完成構想図

砂子水路景観会議で

を見きわめ、砂子水路の景観整備水道整備の進捗と水質の改善状況観保全に努めるとともに、公共下 会等と協議を重ね、砂子の桜の景ある。今後は引き続き桜並木保存らも、工事の実施も困難な状況で 取 り 組 の桜の景型木保存

9月21日、22日の本会議において、18名の議員が市政に 対する質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を3面から6面に掲載しています。 (通告順)

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ(http://www.city. kadoma.osaka.jp/shiqikai/) 内の会議録検索及び各議員のホームページをごらん

※第3回定例会(29年9月)の会議録は12月初旬に掲載する予定です。

市議会ホームページでは、 本会議録画中継を閲覧できます。

門真市議会インターネット中継





武寿 (公明党)

内海

### 不法投棄問題について 府営門真住宅建てかえに伴う

等に配慮した対策が必要と考える ける入居時には、安全面や衛生面 6月の第2期建てかえ工事後にお も園が開園することもあり、30年 同住宅の敷地内に砂子みなみこど が問題となったが、30年4月には 際に、粗大ごみなどの不法投棄 住民への啓発方法は。 同住宅の第1期建てかえ工事

どの適正な処分方法の説明及びパ 住民に対し、発生する粗大ごみな 管理者である府と連携を図り、

 $\mathcal{O}$ 

望を早期に行う。

議会だより

(公明党)

状況は。

試行運用が始まっているが、

実施



携によって得たデータとの比較をから提出された証明書類と情報連圏 各担当課の行政手続で、市民

### 清子

### **WESSについて** 女性サポートステーション

が正常に行えるのか検証中である。行い、本格運用に向けた事務処理

第二京阪高架下北公園について

出前による実施も含め、 等の利用希望者に対応できるよう サポートする啓発セミナーや相談 て出張相談会を開催してはどうか。 ために、市内のイベントに合わせ 今後、女性のキャリア形成を WESSに来場できない人の 検討する。

地を代替利用したい旨の要望が出地元自治会から旧北巣本幼稚園跡

拡張整備工事が長期間となるため、 
〇〇 29年度中に実施する同公園の

契約手続を中止した経過と原因は。

同入札は、同通知後に設計書

定通知を行ったにもかかわらず、

チェックしていた。

関係部局と相談し、

調査研究する。

市道等の無電柱化について

長補佐、担当課長、技術管理者で

これまでも、検算者、

担当課

注の入札案件において、落札者決

## マイナンバー制度について

ナンバーで結びつける情報連携の 治体等が所有する個人情報をマイ 29年7月18日から国や地方自

> 調整していきたいと考えている。 地の代替利用については、庁内で の場となっていることから、

を行っていきたいと考えている。 問 府・門真警察・地域自治会と ンフレットの全戸配布による啓発

進めていきたいと考えている。も 夜間パトロールを強化するなど、に、地域住民の意見を聞きながら 答 府と連携し、早急な撤去に努める。 し、不法投棄が発生した場合は、 不法投棄されにくい環境づくりを 門真警察と連携を図るととも

の見解は。 だと考えるが、市 することは、有効 監視カメラを設置 防犯カメラや



以前に問題となったごみの不法投棄

ては、 行財政運営について 人口減少の著しい本市におい 人口流出を防ぎ、労働人口



(緑風クラブ)

### 吉水 丈晴

公共工事入札のあり方について 29年8月17日の上下水道局発

札会が執行され、入札参加者間で 結果、誤記載の設計書をもとに入 査委員会へ今後の対応を諮問した との契約手続は中止することが適 く入札と考えられるため、落札者 積算の考え方に差異が生じた可能 の誤記載が判明したため、入札審

同跡

本町において貴重なコミュニティ

答

同公園は利用者が多く、北巣

ているが、

市の見解は。

(緑風クラブ) 入すべきだと考えるが、見解は。 新たな人口増への施策に予算を投 とから、既存事業を廃止・凍結し をふやすことが優先課題であるこ 聖域を設けず、必要性や緊急 既存事業の見直しに当たって

聖二

### るべきだと考えるが、市の見解は 部地域の住民への十分な配慮をす り準備会で検証されることとなる。 もらえるよう、ふるさと門真まつ る人や高齢者にも気軽に来場して いるため、来年のまつりでは、南 行けないという市民の声を聞いて ふるさと門真まつりについて 開催場所から遠くに住んでい まつりに行きたくても遠くて 五味 閰 な都合のよいものはなく、職員が 確保においては、魔法の杖のよう であると考えている。また、財源 積極的に投資していくことが必要 資する施策へと財源をシフトして 保策等を検討し、人口減少対策に 性等を勘案するとともに、財源確

に議論していきたいと考えている。 と考えるがどうか。 全体の見直しの中で、総合的

費の一部を積算システムへ入力し たことによる人的ミスである。 含まず、計上すべきでない管工事 の項目に本来計上すべき材料費を 切との答申があり中止とした。 また、誤記載の原因は、設計書 今後の対策とチェック体制は

> 堀尾 晴真 (日本共産党)

妥当性及び正確性を確認すること をリストアップし、設計・積算の がる積算項目のチェックポイント 手続の中止等の重大な事象につな のさらなる強化を図るべく、契約 かどうかをわかるようにすること 今後は、事業課のチェック体制 客観的にチェック済みである 再発防止に努める。

くことが重要であると考えている。 ゼロベースで見直すことが必要だ 知恵を出す中で目的を達成してい 旧一中跡地の活用をいま一度

■ 平成29年第4回定例会の開催予定(母母はおおうにより)											
	6日(水)		本会議								
	7日(木)		総務建設常任委員会								
12	8日(金)	午前10時から	民生常任委員会								
月	11日(月)	一十町10時から	文教こども常任委員会								
	18日(月)		本会議(一般質問)								
	19日(火)		本会議(一般質問)								

### (海肺の再付たじ (継ぶを無料で傍時可能)

(	○ <b>汚場の受りなと</b> (誰でも無料で汚場可能)										
		本会議	常任委員会								
	受付時間	開催予定時刻	1の30分前から								
	受付場所	市役所本館1階議場前	市役所本館4階議会事務局								
	定員(先着順)	一般席32人 車椅子使用者席3人	10人								

### ○議案書の無償提供

定例会の最終日終了後、議場前にて議案書の無償提供(先着10人、1人1部)を行っていますので、ご希望の方は受付担当者まで、お申し出ください。

### 難聴障がい児の支 援につ

上60 B未満、市民税所29年度からは聴力レベ 聴器の購入費の助成 国の基準額の3分の えなどの費用負担が とならない軽度の難聴児に対し、 聴児特別補聴器給付 育成の足かせになっ 同事業は、 補聴器の修理費 国 府の事業対象の概要は。 ているが、 難聴児の健全 用やつくりか

円未満の世帯へ拡充 障がいの有無に 統所得割額46万 レベルが30 認以 関係なく多様 を行っており、 2を限度に補 している。

な場面で活用できる

コミュニケー いて協議 ・調整に努めていく。

### に通行できるよう、電柱の集約等ったが、当該道路を少しでも快適撤去可能な電柱はないとの回答だでをできるででででででである。 一、では、当該道路を少しでも快適のが心が必要では。 央線等でも通行の妨げとなる電柱 間 市道の大和田茨田線や門真中

土山 (自由民主党)

### あり方について くすのき広域連合の

料を整え、しっかり検証すること 調整の上、早急に検討する。 資料の提供については、議員とも 議論していきたいと考えている。 が大切と考えるがどうか。 かを30年3月の議会までに検証資 行うことが最適な選択なのかどう 今後の事業の進め方について、 介護保険の運営を広域連合で

## 孤立死と高齢者住居の問題

### 問 高齢者の孤立死は、 賃貸物件



福田 英彦 (日本共産党)

### 険運営から市独自の運営への 転換について くすのき広域連合での介護保

など工夫し、 きず、百害あって一利なしで、「組 地域の実情に応じた施策展開がで 営は3市の調整に時間を費やし、 営における一定の課題を認識する が求められると考えるがどうか。 認定審査会を広域事務組合で行う **織体は時代に合わなくなってきて** いる」との議会での議論もある。 同広域連合での介護保険の運 同広域連合での介護保険の運 市独自運営への転換

とって種々の課題を抱えている。る貸し控え等賃貸・賃借人双方に の住居確保に努めるべきでは。 市は、何らかの施策により高齢者 の処理問題やそのリスク回避によ

孤立死の状況把握に努めていく。 高齢者の住居確保の観点も踏まえ 建物所有者の金銭的負担や、

## 一中トイレの修繕について

状況の二中のトイレは早急な修繕 境の整備が重要と考える。劣悪な 子どもの学力向上には教育環

が必要と考 えるがどう

ていく。

修繕が必要な二中のトイレ

に検証していく。 議員提案の内容も含め、 慎重

### ついて 地域生活支援拠点整備事業に

の見直しを余儀なくされた。この ようにするための地域支援拠点施た地域で安心して暮らしていける ことから国・府に積極的に予算の 国の補助金不採択により、 設が30年4月開設予定だったが、 閰 「親亡き後」を見据え、 住みなれ 障がい者の高齢化、 重度化や 施設等

> は防災意識の啓発もしている。 導や避難所運営に加え、平常時に 団体が組織され、災害時の避難誘

自主防災組織の重要性を地域

際し貴重な財源であると考えておい。 留 国庫補助事業は、施設整備にいます。 引き続き要望していきたい。 り、必要かつ適切な財源が国にお いて確保されるよう国・府に対し、

加える考えは。

している自主防災組織ガイドブッ

成に取り組んでいく。

24年度以降から同組織へ配付

動要支援者対策など最近の事例を

主防災組織ガイドブックに避難行 へ伝えるため、以前に作成した自

亀井 淳 (日本共産党)

# TA等地域への働きかけは今後も

通学路の見守りについて、P

# **必**箇所は交通専従員を配置すべき 必要であるが、地域の応援が困難

## と考えるがどうか。

のブロック塀をフェンスへ砂子小を含む市内小・中学校

踏まえ、配置が必要な箇所につい

学校からの要望や優先順位も

がん教育の推進に

高橋

康教育の一環として発達段階を踏保健だよりなどでの啓発により健

まえた指導に取り組んでいる。

嘉子

酒防止教育や食育等において、が

喫煙防止教育、未成年者

んとの関連について指導し、また、

(公明党)

て検討していく。

第七中学校の7校である。フェン 校も合わせ改善を求めるがどうか。 ス化は危険な箇所から進めており、 砂子小も整備に向け調整中である。 上野口・東・砂子小学校、第二・ ック塀の学校は、四宮・古川橋・ 直線にひびが入り危険である。他 全てブロック塀及び一部ブロ 砂子小のブロック塀は、横

ついて

北島東地区区画整理事業に

患う国民病であり、

がん教育はそ

**気として実感でき、意義あるものんのイメージが変わり、身近な病授業は、「死ぬ、怖い」というが授業は、「死ぬ、怖い」というが** 

法等の正しい

がんは日本人の二人に一人が

**音対策は。また、水路沿いの緑地について、周辺住民への安全・騒** 同地区に建設予定の物流施設

均寿命が延び続けて て考える機会も与え

知識を教えるだけで の原因、予防や治療

ている現状を受いなく命につい

校では、がん拠点病院等の医療従 一府の事業として、府内の中学 教育を取り入れてはどうか。

と聞いている。今後、授業にがん

け、100歳を超え

帯に桜を植樹してはどうか。

性が高い日本の子ど

もたちにとっ て生きる可能

て、がん教育、まさ

に今後の人生

おり、貴重な話が聞ける機会とな 事者による出前授業等が行われて

施設稼働後の安全・騒音対策

本市の学校における 設計に欠かせない。

がん教育の取

教育と言える。

っている。

### 交通専従員の増員を 通学路の安全確保のため



京子

### 松本

(公明党)

災害時に大きな力を発揮する らえるよう内容を改善していく。 項が記載されていないことから 自主防災組織で有効に活用しても 災害初動期に多くの職員が避

一刻も早くマニュアルの整備が必助による円滑な運営ができるようあと考えられるため、今後は、共よる活動に委ねることが可能であいが開ビ営等は地域住民の共助に災害対応に影響を及ぼしかねない。 要と考えるがどうか。 難所運営に携わることは、円滑な

自主防災組織の現状は。

同組織は自治会単位で119

防災対策について

避難者と同組織等に 運営マニュアルの作 運営ができる避難所 より自主的に避難所 意見を取り入れつつ、 避難所周辺の自主防災組織の

があることや、府営

府や関係機関と鋭る



シルバーハウジング

府営住宅の移管

クに避難行動要支援者に関する事

を考え、桜を植樹する計画である。 歩道に整備し砂子水路との連続性 また、緑地帯については、一部を について今後要請等を行っていく。

学校では、

保健

体育の授業を

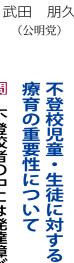
にがん教育を推進していきたい。

に係る研修の周知等、より積極的

このような事業の活用や、

がん

の確保に向け調査研究していく。



### 移管を検討している状況を踏まえ スにおいても類似サービスの提供 話付住宅である。介護保険サービ 生活を送るための公営の高齢者世 府営住宅から切り離し、養護老人 ているが、シルバーハウジングを 局齢者が安心して暮らせる住まい 意協議を行い、 が。 の検討がされ 住宅の市への ングはひとり 安心・快適な つの再構築を の子に応じた支援を行うことは

い。学校のケース会議等において、 童・生徒がいることは否定できな 制の構築が必要と考えるがどうか。 態を把握し、特性に合った支援体 ると考える。学校においても、実童・生徒に対する療育が重要であれていると聞いているため、同児の可能性がある児童・生徒も含ま らに福祉部門との連携を進め、そ する中で、外部機関へつなぐなど その子の特性を教職員全体で把握 対応を模索しているが、今後はさ 不登校者の中には発達障が

ホームとしてはどう

シルバーハウジ

暮らしの高齢者等が



裕子

### (日本共産党)

## 豊北

### 設置要望について 五中校区地域協働センター の

それに対する市の見解は。 区地域会議からの要望書の内容と 6月5日付で出された五中校

であるが、できる限り要望に応え で、この内容は弁天池公園との一 め、早期建設には応えにくい状況 体的な防災対策の検討が必要なた 防災施設の早期設置を求める要望 れるよう検討を進めている。 地域協働センター機能を備えた 現在の活動拠点は狭く不便な 旧市立養護老人ホーム跡地

議会だより

### 大倉

### 基文 (緑風クラブ)

### シルバー人材センターを 所管する課について

市の考えは。 め、高齢福祉課から産業振興課においても国・府との連携を図るた は商工労働部が所管である。市に 所管を移してはどうかと考えるが、 ターは、国では厚生労働省、府で 府の所管が労働関係部署である 所管課の変更については、 国

ど工夫をして活動している同セン **問 テレビに取り上げてもらうほ** 

こと及び高齢者の雇用の観点も踏 まえ、高齢福祉課及び労働関係所

### ある公園とする計画について 弁天池公園を防災機能

公園の改修や防災機能を備えた公 問 設置後26年が経過した弁天池

計画はないが、老朽化は認識して圏 同公園についての具体の整備 際は防災機能を有する施設の設置 おり、 を検討していく。 ることから、リニューアルなどの 広域避難地に指定されてい

## 新生児聴覚検査への補助を

問 新生児聴覚検査の実施状況と

注視しながら、調査・研究していく。 助制度は国・府、他市町の動向を1%、28年度63・7%である。補 管本市の実施状況は27年度6· 補助制度創設への市の見解は。

管部署との調整をしつつ、 今後検

# 討していきたい。

これからの高齢福祉について

と考えるが、市の考えは。
け合う地域づくりを進めてほしいいか、今後の高齢者福祉については、
が、今後の高齢者福祉については、 計画の策定に向け取り組んでいる 閰 現 在、 第フ期高齢者保健福祉

設置し幅広い施策を検討・実施す 同計画策定には庁内会議に加え外 く、さらに経済的に厳しい人が多答 本市には高齢者のみ世帯が多 て暮らしてもらえると考えている。 部の学識経験者からなる審議会を いなど独自課題もあると認識し、 ることで地域で生き生きと安心し



久和 戸田 (無所属)

20年も住みつつ、市営新橋住市長知人Aが他市の娘宅に約 宅法の目的規定への違反であ 宅を占有してきたのは公営住

営住宅法に反することはできな問 本市の市営住宅の運営で公

ることについて

いはずだが、どうか。 法に反することはできない。 公営住宅法及び住宅地区改良

低額所得者」に全く該当しない 定されている「住宅に困窮する Aは公営住宅法第1条に規



博孝 (無所属)

## 財政状況について

の課題解決に向けた取り組みは。 護費など扶助費の増加により高い 03・1%となった要因と今後 している。 税等が大幅に減少したためと分析 口急減したことにより、地方交付 水準で推移してきたが、さらに人 同比率は、これまでも生活保 28年度の経常収支比率が1

討や事業の廃止を含めた見直しを し、収支均衡型予算の編成を目指 今後は、新たな歳入確保策の検

められない。

### 議員にも教えない」という情「市長の自宅住所は市民にも 報隠しについて

検を受け阻害はない。積極的な公 (語)法令に則り、提出書類での点 員や市民との信頼関係はどうか。 ことを卑怯だと思わないか。職 が「自分だけは自宅住所を隠す」が阻害されるのではないか。市長 までは「政治家とカネの透明性」 市長が自宅住所を隠したま

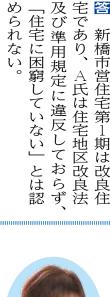
卑怯だとも思わない。

信頼構築に影響はなく、

表はしていないが事務所は公表し、

計の収納率を踏まえた不納欠損欠損額を計上しているが、各会計で約1億8000万円の不納所円、国民健康保険事業特別会のの一般会計で約1億4000円の会計で約1億4000円の会計で約1億4000円の 額の状況は。

答 市税や国保料の収納率がコー路、府内平均を上回るまで向上しりは、市税9・34%、国保指導等の取り組みにより向上し、指導等の取り組みにより向上し、指導等の取り組みにより向上し、 る。結果として翌年度へ繰り越す上という効果としてあらわれていてきているなど、着実に収納率向 総じて減少傾向にあると考えて 滞納額が減少し、不納欠損額につ いては、年度間で増減するものの



池田 治子 (自由民主党)

## 財政状況について 経常収支比率が103・1%

難となり、基金等で へ急に悪化したが、 スクの増大が懸念さ 100%を超える場合 るため、基金の枯渇 市独自施策等の

補う必要があ

財源確保が困

等、財政上リ

### 浄化センターの今 後について

れる。

おける同センター敷地の活用は。 方向性の意見交換を 地元地権者等とまちづくりの 門真南駅周辺の まちづくりに し、閉鎖後の



太平

### (公明党)

### 後藤

### 把握し、都市魅力を をどのように考えて いく必要があると考 いと思えるビジョン 将来ビジョンにつ 一々の問題を踏ま 本市の課題や国 人口減少や少 え、市の将来 子・高齢化等、 |の方向性等を えている。 を再構築して 高め、住みた いるのか。

### の状況は。また、 の設置状況及び防犯灯のLED化 同プランに基づ ED化による く防犯カメラ

進捗状況について

防犯対策アクショ

ンプランの

り ながら方向性を検討していく。 センター敷地は、庁内調整を図

## 市民への啓発活動について

宮 南部地域等、京阪沿線以外しているが、今後の進め方は。 旨を十分に踏まえ、検討していく。 の実施についても、啓発活動の趣 南部地域等、京阪沿線以外で 京阪沿線の駅周辺でのみ実施

今後継続して

旨の影響は。

### ついて 全国学力・学習状況調査に

学習については、啓発冊子を配付 とを目標としている。また、家庭 度末に学力が全国平均に達するこ でにどのような結果を出すのか。 しており、今後も働きかけていく。 につなげるべきだ。市はいつま 現段階では高い目標だが31年 家庭学習を習慣化し、学力向

答 29年度設置の防犯力電気料金補助の効果額は。 度上半期比で約10%減少している。 灯の防犯灯のうち約72%がLED を含め273台となった。6953 化され、電気料金補助額は、28年 市・自治会設置分を合わせ45台で 内設置台数は公園設置中のもの 29年度設置の防犯カメラは

# 介護保険の新総合事業について

一今後、地域特性に応じた生活れるが、どのように取り組むのか。サービスなどの検討が必要と思わせ。 支援サービスなどが必要と予想さ より連携を密にし、 必要であり、くすのき広域連合との把握やマッチングなどの検討が 閰 れ、実施に向け、地域ニーズなど 同事業は、今後、住民主体の 対応していき

### ■市政に対する一般質問の要旨(通告順)

### 岡本 宗城(公明党)

### 1 砂子水路の景観保全と創造について

(1) 桜並木の周辺環境等の整備について

### 内海 武寿(公明党)

### 1 安心・安全な環境づくりについて

- (1) 門真住宅建てかえに伴う不法投棄問題について
- (2) 防犯カメラの設置について

### 2 安心・安全な市民の暮らしについて

- (1) 特殊詐欺防止について
- (2) 消費生活センターの設置場所について

### 春田 清子(公明党)

### 1 マイナンバー制度について

- (1) 情報連携の試行運用について
- (2) マイナポータルについて
- (3) マイナンバーカードの活用について

### 2 女性サポートステーションWESSについて

- (1) これまでの利用状況と事業の取り組みについて
- (2) 周知と啓発活動について

### 3 第二京阪高架下北公園について

- (1) 公園の拡張整備について
- (2) 拡張工事期間の利用について

### 五味 聖二(緑風クラブ)

### 1 ふるさと門真まつりについて

- (1) ふるさと門真まつりの結果報告及び確認について
- (2) ふるさと門真まつりの各種課題と問題点について
- (3) 南部地域にお住まいの市民に対する対応について
- (4) 市民と職員の今後の交流のあり方について

### 2 行財政運営について

- (1) 門真の財政状況と今後の各種展望について
- (2) 庁内での取り組みについて
- (3) 既存事業の見直しについて
- (4) 歳出抑制における人件費の考え方について
- (5) 旧一中跡地の活用の見直しについて

### 吉水 丈晴(緑風クラブ)

### 1 公共工事入札のあり方について

- (1) 8/17上下水道局発注の入札案件について
- (2) 9/5~6発注の入札案件について
- (3) 元請業者について
- (4) 監理技術者の貸し借りについて
- (5) 本庁発注と上下水道局発注の契約の一本化について

### 堀尾 晴真(日本共産党)

### 1 難聴障がい児の支援について

- (1) 難聴児特別補聴器給付事業について
- (2) 学習能力や活動意欲の低下を防止する教室等の支援や相談体制等について
- (3) コミュニケーション支援アプリの導入について

### 2 性的マイノリティの権利保障について

- (1) 書類の不必要な性別欄の撤廃について
- (2) 普及啓発等を進めるための今後の取り組みについて

### 3 国道163号の無電柱化について

- (1) 通行の妨げとなっている電柱の認識について
- (2) 無電柱化の推進に関する施策の策定、実施の考えについて
- (3) 国、市、電力会社等の事業者の負担割合について

### 土山 重樹(自由民主党)

### 1 介護保険制度について

- (1) くすのき広域連合について
- 2 孤独死について (1) 清掃費用について
- 3 市民プラザ体育館について

### (1) 空調について 4 学校施設のメンテナンスについて

(1) 修繕について

### 福田 英彦(日本共産党)

### 1 高齢者保健福祉計画の策定と施策推進の課題について

- (1) 「共生型サービス」の創設等、改悪介護保険関連法に対する認識と計画との関係
- (2) 2015年第4回定例会の「2025年問題に対して門真市として万全の体制を構築す ることを求める決議」を受けた具体化の状況について
- (3) 高齢者施策推進におけるくすのき広域連合での介護保険事業運営に対する具体 の検証内容について
- (4) くすのき広域連合での介護保険事業運営から市独自の運営への転換について

### 2 地域生活支援拠点整備事業について

- (1) 地域生活支援拠点整備事業の趣旨について
- (2) 整備に係る国庫補助不採択の経過と認識について
- (3) 設計変更を余儀なくされた施設の内容等について

### (4) 今後の対応について **亀井** 淳(日本共産党)

### 1 小・中学校のブロック塀をフェンスに切りかえることについて

- (1) 現状について
- (2) 今後について

### 2 学校安全推進事業における交通専従員の配置をふやすことについて

- (1) 現状について
- (2) 今後について

### 3 図書館条例の第1条を変更することなどについて

- (1) 第1条の変更についての考え方について
- (2) 門真市生涯学習複合施設建設の今後について

### 4 北島東地区区画整理事業について

- (1) 区画整理事業代行者について
- (2) 建設予定の物流倉庫について

- (3) 同区域内の歩行者の安全対策等について
- (4) 公園緑地について
- (5) 第10水路の改修工事について

### 5 府営住宅の市移管について

- (1) 府営住宅の移管も含めての市のまちづくり、住宅政策について
- (2) 人的・財政的についての判断基準について
- (3) 府営門真住宅の今後について

### 松本 京子(公明党)

- 1 読書環境の充実について
- 2 防災対策について (1) 自主防災組織について
- (2) 災害発生時における避難所運営について

### 3 高齢者施策について

- (1) 老老介護・認認介護について
- (2) 健康寿命延伸について

### 高橋 嘉子(公明党)

1 がん教育の推進について (1) 門真市の学校におけるがん教育の取り組みについて

### 武田 朋久(公明党)

### 1 門真市の魅力発信について

- (1) 門真市の歴史とアイデンティティの確立そして創造について
- (2) 魅力発信課の他部署との連携について

- 2 門真市の教育について (1) 門真市魅力ある教育づくり審議会「中間答申書」について
- (2) 教職員の処遇について

- 3 高齢者施策について
- (1) シルバーハウジングの今後について (2) 地域包括支援センターの今後について

### 4 障がい者施策について

(1) サービスのあり方について

### 豊北 裕子(日本共産党)

- 1 弁天池公園の整備について
- (1) 弁天池公園の現状について
- (2) 整備計画について
- (3) レンコン畑をつくることについて

### 2 第五中学校区地域協働センターの設置要望等について

- (1) 地域協働センターの設置要望について
- (2) 東部地域のコミュニティセンターの必要性について
- (3) 市立養護老人ホーム跡地活用について
- 3 新生児聴覚検査補助制度について (1) 新生児聴覚検査について
- (2) 本市の現状について (3) 補助の創設について
- 大倉 基文(緑風クラブ)
- 1 シルバー人材センターについて
- (1) これまでの活動について (2) 毎日放送「ちちんぷいぷい」にて取り上げていただいたことについて
- (3) 現在の市役所での主管課について

### 2 高齢福祉について

- (1) これからの高齢福祉について 戸田 久和 (無所属) 1 若狭原発事故時に滋賀県高島市の避難者を市民プラザに受け入れることになって
- いることについて 2 市雇用の非正規職員の実態及びその処遇改善を市の行政力量や活力の向上とリン
- クさせて考えるべきことについて 3 園部市政での市の正当性が認められて市の完全勝訴・原告敗訴となったトポス裁
- 判の大阪地裁判決について
- 4 公共工事の入札や契約施行の点検体制に問題はないかについて 5 宮本市長知人のAが守口市の娘のマンションに約20年も住みつつ、市営新橋住宅 を占有してきたのは「住宅困窮者に住居を提供する」と目的規定のある公営住宅法へ
- の明白な違反であることについて 6 宮本市長が「市長の自宅住所は市民にも議員にも教えない」という、全国どこにも
- ない異様な情報隠しをしていることについて 森 博孝 (無所属)
- 1 門真市の財政状況について
- (1) 経常収支比率について
- (2) 不納欠損額について
- 池田 治子(自由民主党)
- 1 財政状況について 2 浄化センターの今後について
- (1) 現状について
- (2) 今後の敷地の活用について
- 3 市民への啓発事業等のあり方について
- (1) 現状について (2) 今後の考え方について

### 4 全国学力・学習状況調査について

- (1) 今回の結果とこれまでの推移について
- (2) 原因と施策について
- (3) 家庭学習と、PTA及び保・幼・小連携について
- (4) 市としての目標設定について

### 後藤 太平(公明党)

- 1 門真市の将来ビジョンについて
- (1) 本市の将来ビジョンと今後の方向性について
- 2 公民協働による安心・安全なまちづくりについて
- (1) 本市の防犯体制について 3 門真市の高齢者施策について
- (1) 生活支援・介護予防サービスについて

第3回定	3 回定例会で審議された案件と議決結果 会派名			公 明		党			自由民主党				日	本井	—	党	緑風クラブ				無所属	無所属	議		
	学安亚口		頁名∥									土山重樹											森博孝		決結果
	議案番号	議案名																							
専決処分	承認第6号	専決処分の承認を求めることについ (生活保護法第78条に基づく費用行金請求に伴う訴えの提起について)	- 1	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$		0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	$\bigcirc$		0	承認
		門真市立幼保連携型認定こども園 の制定についてに対する修正案	条例	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	否決
	議案第51号	門真市立幼保連携型認定こども園 の制定について(原案)	条例	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0		×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	可決
		門真市立幼保連携型認定こども園乳の制定についてに対する附帯決議案		$\circ$	0	0	$\bigcirc$	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$		0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	$\bigcirc$	0		可決
条例	議案第52号	門真市こどもの医療費の助成に関 条例の一部改正について	する	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	$\circ$	0		×	×	×	×	0	0	0	0	0	×	可決
	議案第53号	門真市ひとり親家庭医療費の助成に する条例の一部改正について	に関	$\circ$	0	$\circ$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\circ$	0		×	×	×	×	0	0	0	$\circ$	$\circ$	×	可決
	議案第54号	門真市身体障害者及び知的障害者(療費の助成に関する条例の一部改) ついて	- 1		0	0	$\circ$	0	0	0	$\circ$	$\circ$	$\bigcirc$	(美	×				0		0	$\circ$		×	可決
その他の	議案第49号	住居表示を実施する市街地の区域が 当該区域における住居表示の方法は いて			0	0	$\circ$	0	0	0	$\bigcirc$	$\circ$	0			0	$\bigcirc$	$\circ$	0	0	0	$\bigcirc$			可決
議案	議案第50号	(仮称) 門真市立南認定こども園室 工事請負契約の一部変更について	整備	0	0	0	$\circ$	0	0	0	$\circ$	0	0	採決に参	0	0	0	0	0	0	0	0			可決
補正予算	議案第55号	平成29年度門真市一般会計補正予算(第3号)	Ī	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	加		×	×	×	0	0	0	0		×	可決
11出,17异	議案第56号	平成29年度門真市国民健康保険事業別会計補正予算(第2号)	<b>美特</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		可決
人事案件	議案第57号	固定資産評価審査委員会委員の選信 ついて	任に	0	0	0	$\bigcirc$	0	0	0	$\circ$	$\circ$	0		0	0	$\bigcirc$	0	0	0	0	0			同意
	議案第58号	教育委員会委員の任命について		$\circ$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0		0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	0	同意
	議案第48号	平成28年度門真市水道事業剰余金の分について	の処	_	_		-	_	_	_	-	-	_		_	_		_	_	_	_	-	_		継続審査
決算案件	認定第1号	平成28年度門真市歳入歳出決算認知 ついて	定に	_	_	_	_	_	_	_	_	-	_		_	_	_	_		_	_	_	_		継続審査
	認定第2号	平成28年度門真市水道事業会計決算定について	算認	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_		_	_	1	_	_	_	_	_	_		継続審査
議員提出	議員提出 議案第7号	受動喫煙防止対策を進めるために(増進法の改正を求める意見書	健康	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0		0	$\circ$	0	0	0	0	0	0	0	×	可決
議案	議員提出 議案第8号	小・中学校におけるプログラミンク 修化に対して支援を求める意見書	が必	$\bigcirc$	0	0	$\circ$	0	0	0	0	$\bigcirc$	0		0	$\bigcirc$	0	0	0	0	0	0	0	×	可決

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

### 議会活動日誌(平成29年8月1日~10月31日)

- 8・ 18 大阪府市議会議長会総会・研修会
- 22~23 大阪中央環状モノレール促進議会協議会 他都市視察
- 9 · 1 議会運営委員会
  - 8 議会運営委員会 本会議(第3回定例会開会) 決算特別委員会
  - 11 総務建設常任委員会
  - 12 民生常任員会
  - 13 文教こども常任委員会

- 9 14 議会運営委員会
  - 21 議会運営委員会 本会議
  - 22 本会議(第3回定例会閉会)
- 10 · 4 決算特別委員会
  - 12 決算特別委員会
  - 17 近畿市議会議長会議長研修会
  - 18 決算特別委員会
  - 30~31 守口市門真市消防組合議会管外行政調査